

三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略（仮称）

令和 7 年 ● 月
三 重 県

三重県が取り組むべき基本的な3つの課題②～雇用形態の男女差～ ライフイベントに左右される女性の働き方 女性に影響が偏ることは当たり前？

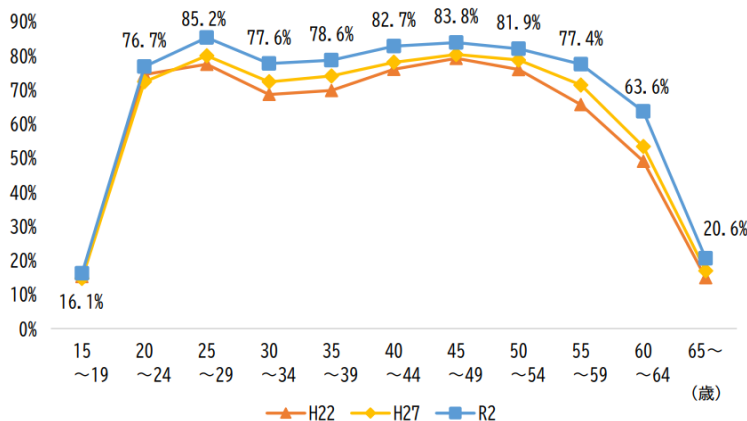
結婚・出産期にあたる年代に女性の労働力率が一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、いわゆるM字カーブについては、近年、改善傾向が見られる。しかしながら、女性は30才前後のタイミングで雇用形態に変化が生まれる傾向が依然として強く、ライフイベントを起因とした影響を受け続けている。

労働力の変化

国勢調査における労働力人口とは、就業者と完全失業者(仕事に就くことが可能かつ求職している人)を指す。

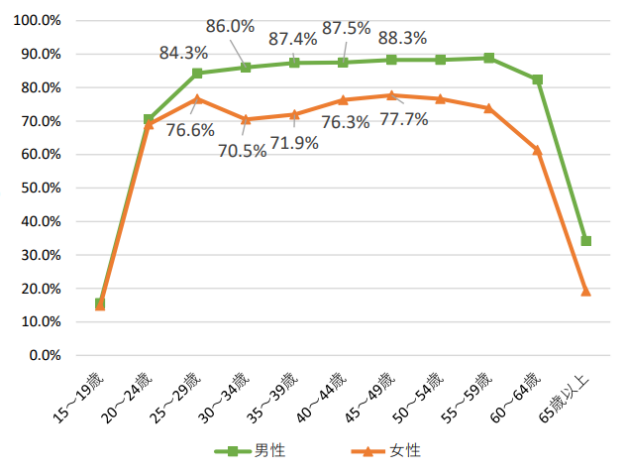
いわゆるM字カーブは、平成22(2010)年や平成27(2015)年と比べて改善傾向にあるが、令和2(2020)年のデータでは、男性の労働力率が20代～30代にかけてほぼ横ばいで推移するのに対し、女性の労働力率は低下が見られる。

女性の年齢階級別労働力率の推移(三重県)



出典：総務省「国勢調査」 ※労働力状態「不詳」の者を除いて算出

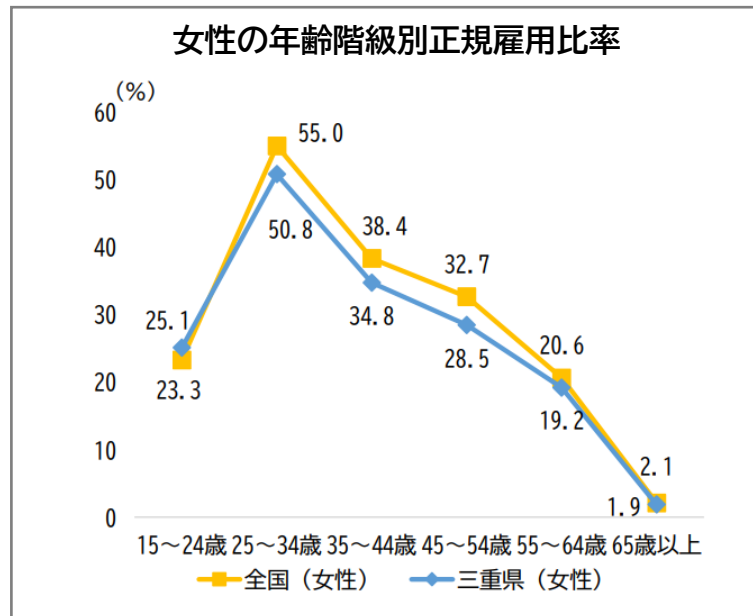
男女別の年齢階級別労働力率(三重県)
(2020年)



出典：総務省「国勢調査」

女性の正規雇用比率の変化

女性の正規雇用比率は、25～34 歳をピークに低下しており、いわゆる「女性の L 字カーブ」が現れている。また、三重県は 15～24 歳以外の各年齢階層で比率が全国平均より低い状況にある。出産や育児等を契機に女性が正規雇用から非正規雇用に移行している傾向が読み取れる。



出典：総務省「就業構造基本調査」（令和4年） ※人口に占める正規の職員・従業員の割合

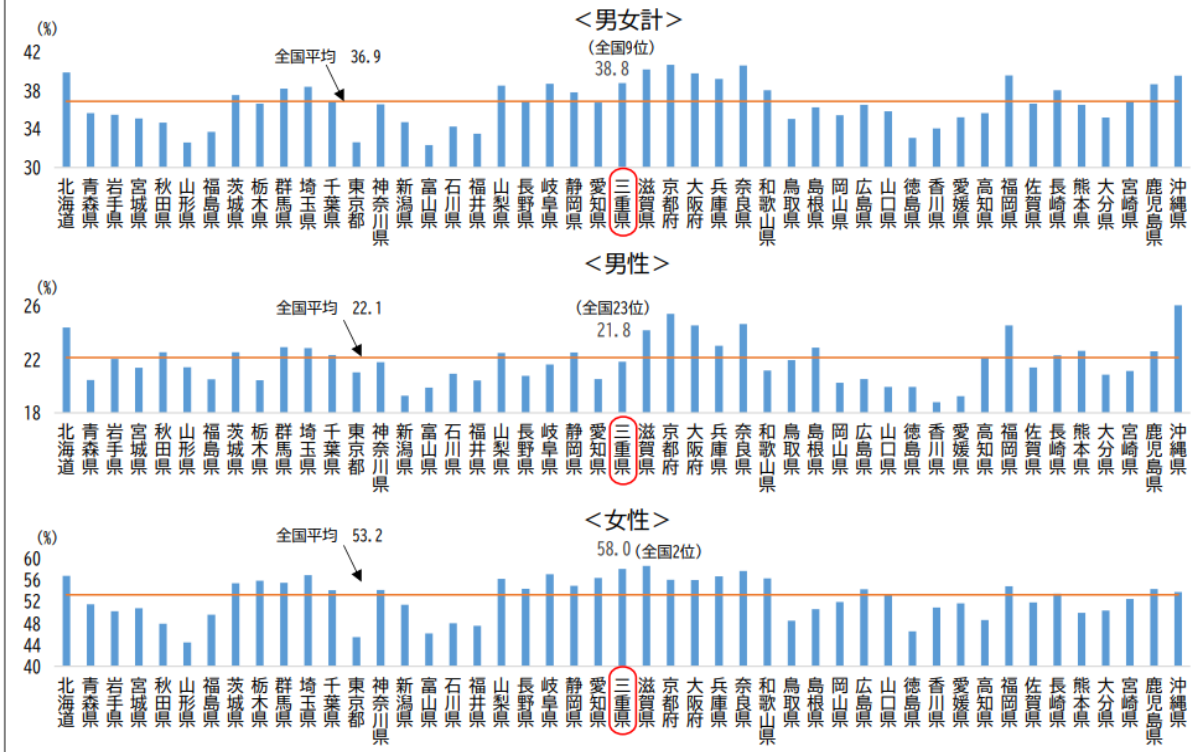
三重県の女性の非正規雇用比率の特徴

三重県の労働者全体に占める非正規雇用者の割合（非正規雇用比率）は 38.8%で全国9位、特に女性は 58.0%で全国2位と高い水準にある。

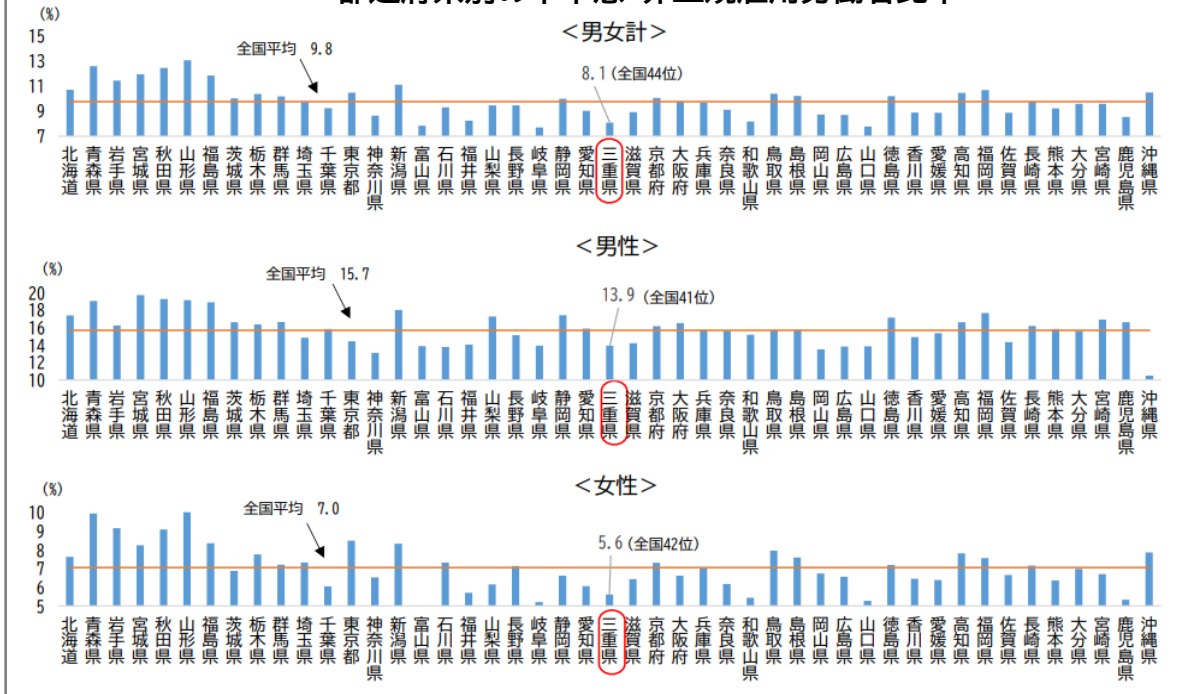
一方、三重県の非正規雇用者に占める「不本意・非正規雇用者¹」の比率は 8.1%で全国 44 位と低い水準にあることから、三重県においては「本意・非正規雇用者」、つまり、自ら選択して非正規となる者の割合が高いという特徴が読み取れる。

1 非正規雇用労働者のうち、現職の雇用形態に就いている主な理由が「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答した者としている。

都道府県別の非正規雇用比率



都道府県別の不本意・非正規雇用労働者比率



データでわかる三重の強み

三重県は経済環境も生活環境も恵まれています。三重で働き、暮らすメリットを実感してもらうためには、「三重県の強み」を生かしていくことが重要です。

三重の強み

- ・収入が高く、生活コストが低いため、経済的に豊か。
そのため、ゆとりのある暮らしができる。…①②④
- ・企業のトップが若く、後継者もいるため、今後のさらなるイノベーションが期待できる。…③
- ・自然や気候等が過ごしやすく、都市公園が多いなど、子育て世帯(特に幼少期)にやさしい生活環境が身近にある。…⑤⑥

経済環境

①収入が高く、生活に必要な支出が低い

	順位	年間世帯収入
三重県	10位	5,945千円
(参考)全国平均		5,578千円
	順位	食糧費の割合
三重県	44位	24.5%
	順位	光熱水費の割合
三重県	47位	6.7%

出典：総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

②完全失業率が低く、消費支出に占める教養娯楽費の割合が高い

	順位	完全失業率
三重県	4位	3.1
	順位	教養娯楽費割合
三重県	7位	10.0

出典：総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

③社長が日本一若く、事業後継者がいる割合も全国で突出して高い

	順位	社長の年齢
三重県	1位	59.6歳
※8年連続日本一		
	順位	後継者不在率
三重県	1位	34.1%
※40%未満は三重県だけ		

出典：帝国バンクデータ「全国「後継者不在率」動向調査(2024年)」
帝国バンクデータ「全国「社長年齢」分析調査(2024年)」

生活環境

④持ち家比率や一戸建住宅比率が高く、家賃も安い恵まれた住環境

	順位	持ち家比率
三重県	9位	72.3%
	順位	一戸建住宅比率
三重県	11位	72.4%
	順位	民営賃貸住宅の家賃(3.3㎡あたり)
三重県	39位	3,549円

出典：総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

⑤自然公園面積や周辺の都市公園の数が全国的に高く、自然豊かな環境

自然公園面積割合	
三重県	全国平均
36.1%	15%
都市公園数(対住地面積100km ² あたり)	
三重県	全国平均
139.91所	93所

出典：総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

⑥日照時間が長く、比較的温暖で過ごしやすい天候

	順位	日照時間
三重県	8位	2373.3時間
	順位	最高気温
三重県	42位	32.6度

出典：総務省「統計でみる都道府県の姿2025」

ジェンダーギャップ解消に向けた基本的な考え方と三重のめざす姿

基本的な考え方

三重県が、若者や女性から選ばれる地域となるために、**ジェンダーギャップの視点で可視化した「三重県の課題」を取り除くとともに、今ある「三重の強み」を最大限に生かすことで、三重で働くこと、生活することに新しい価値を生み出し、「三重に残りたい」「三重に帰ってきたい」という願いが叶う未来を築きます。**

三重県のめざす姿

固定的役割分担に基づく「当たり前」を取り除く！

一人で頑張らない！「ともに働き、ともに育てる」三重

○これまでの「男性は仕事、女性は家庭」という古い慣習を破り、家事や仕事などの責任を性別に関係なく柔軟に分担できたり、気兼ねなく家事や育児や介護のサービスを利用できるような、新しいライフスタイルへの変革が進んでいる

性別に関係なく、フェアな評価と活躍の場がある三重

○性差なく、個人の適正ややる気で採用・配置・評価をすることで、誰もが活躍するチャンスが生まれる職場環境づくりに取り組む企業が増えている

子どもたちが性別にとらわれず夢を実現する力を育てる三重

○子どもたちが性別にとらわれず、やりたいことを見つけたり、実現するために必要な情報を得たり、体験する機会がある

仕事も家庭も趣味もあきらめない！

【平等なチャンスと公平な評価で多様性を生かしたイノベーションを実現】

○若手経営者やリーダー層がつながることで、成功事例を共有し、企業や自治体が連携したプロジェクトを推進するネットワークが構築されている。これにより、多くの企業のプロジェクト参加が進み、さらに新しい取組が展開されている

○イノベーションを促進する次世代の若いリーダーが育成され、分野横断的に若者がやりがいを感じられる職場が増えている

○平等なチャンスと公平な評価により、経済的に自立し、活躍する女性が増えている

【ライフステージに応じた多様な働き方によりワークライフバランスを実現】

○結婚、育児、介護など様々なライフステージに応じた、フレキシブルな働き方の選択肢がある企業が増え、ワークライフバランスの文化が育まれている

【子育て世帯が安心して働ける環境の充実】

○充実したケアサービスと子育て支援制度により、子育て世帯が安心して働ける環境が提供されている

○性別に関係なく、スキルアップや学びなおしの機会が十分にあり、自らが望むキャリア形成が目指せる環境が整備されている

【三重県ならではの体験機会の充実】

○地域ごとに異なる多様な文化や自然が享受できる三重県ならではの体験機会の提供により、子どもたちが成長できる環境が整っている。

○県内の企業の取組や仕事の内容について、早い段階から知る仕組みが構築されていて、三重県で働くことがイメージできる機会が充実している

